

広島大学留学生センター

日本語研修コース

第三十四期

成果発表会

二〇〇二年九月十三日（金）

目次

	<u>手書き</u>	<u>ワープロ</u>
日本に来る前に セサル・ベラスケス (メキシコ)	1	42
日本の交通事情 ウォン・ツェ・リン (イギリス)	4	45
ありがとうございます マルタ・アルカンタラ (メキシコ)	7	49
私の初めての日本 キョウカイカ・ソムチャイ (タイ)	12	54
私のホストファミリー ファ・ゴク・フク (ベトナム)	16	58
テヘランと広島のみかく ラレー・ニクファルジャム (イラン)	22	64
私が日本に来たきっかけ オスマン・オラル (トルコ)	28	71
パラオという島 ニライ・メツール (パラオ)	33	76
私の日本での生活 ホクエモハマドジアウル (バングラデシュ)	37	80

日本に来る前に

セサル・ベラスケス

私は七年前、教員研修で日本に来ました。しかし、一年半では日本語や日本の文化を勉強するための時間は十分ではなくて、メキシコに帰ってから、もう一回日本へもどろないといけないとずっと思っていました。だから、文部省の奨学金をもらえる事が分かった時すごくうれしくなりました。けれども一つ心配なことがありました。仕事のことでした。

1998年3月から私は校長になりました。学校は大きい社会問題をかかえている地域にありました。生徒も色々な問題がありました。たとえば、働いている子供がいたし、お父さんやお母さんがいない子供がいたし、道に住んでいた子供や麻薬を使う子供、犯罪を犯す子供などがいて、本当に大変でした。

でも先生たちといっしょにがんばって、子供のために色々なプログラムを作って学校を

おもしろくしました。たとえば、子供が勉強したいことから特別な授業（サッカーやおどりなど）をつくったり、外によく見学に行ったり、クラスみんなでカウンセリングみたいな授業をして先生と子供たちは友だちになりました。それから子供はうれしそうに顔で毎日学校へ行って、勉強をがんばりました。

それで生徒と先生たちは私が日本に行くことが分かるときびしうに「セサルが行ったら他の校長が来て子供のことを知らなくて、学校はもう一回大変になるかもしれないから、行かないでください」と言いました。そう言われると私はかなしくなって考えさせられて、日本に行くかどうかまよってきました。

よく考えたあと、私は35才ですから、これはラストチャンスだと思いました。だから行くこと決めました。これは本当に自己中心的な気持ちです。日本へ行けば、私はとても面白い経験ができます。でも子供たちの問題はまだ残っています。だから、最後はさよならと

言った時とてもさびしくなって、仕事をやめ
たくなかったのですが日本にきました。

だから、この自己中心的な気持ちをかえる
ために、その子供の思い出をもって、日本で
出来るかぎりいっぱいのことを習って、がん
ばらないといけないうと思っています。また国
に帰って、たくさんの方が出来るようにし
たいと思っています。

小原先生、留学生センターの先生たち、み
んなさん、これからもうごようよくおねが
いします。

最後にこの六か月日本語をたくさん勉強さ
せていただき、先生かたじうもありがとう
ございました。

留学生みんなさん、ぎんわんながら、違う
クラスにいきました。けれども、いっしょに見
学へ行っ、よく話して、よく遊んで、とて
もいい友だちができたと思います。だから、
こころから、ごうもありがとうございました。

東広島、二〇〇二年九月十三日。

日本の交通事情

ウオン・ツェ・リン

皆さん、こんにちは。私は広島でもう5ヶ月住んでいますが、まだ慣れないことがあります。それは、運転者のマナーです。

私は今まで香港、ロンドン、東京と広島に住んだことがあります。この4つの街を比べると、広島、特に東広島の運転者は一番危ないと思います。自分の経験ですが、自転車で国際交流会館からフジグランに行、た時、川のそばを通、ていました。道はとても狭か、たですが、と友りの車は速度を落とさないまま走、て、驚きました。こんな場合は、私が川に落ちてしまう可能性があります。

実は、私はインターネットで日本の交通事故について調べてみたら、結果は私の想像と同じでした。2002年に東京の交通事故は広島より多か、たですが(広島 = 1864、東京 = 7224)死亡者は東京のほうが広島より少なか、たです。東京の交通事故発生率は高いようですが、

東京の人口も車も広島より多いです（広島県：約287万人；東京：約1181万人）。私は広島にいた5ヶ月のあいだ、学部が夜、車に乗っていた時、そして、私の友達の友達が道を渡っていた時、交通事故で亡くなりました。一方、東京にいた9ヶ月間に、誰かが交通事故にあつたことを全然聞きませんでした。

私の観察ですが、広島は運転者はスピードが速く、他の人を気にかけないで運転します。大学の中でも、スピードを出して運転する人をよく見ます。駐車場から出て、角を曲っても、速度を全然落とさずに運転します。それは、雨が降る日でも、見えにくい夜でも同じです。そんなわがままな態度で運転するのは、私は気になります。

なぜ広島は運転者は不注意か考えると、広島、特に東広島は田舎だから、交通量は東京やロンドンのような都市より少なく、広島は運転者は他の道路使用者への気づきが都市でよく運転する人より低いでしょう。そう考

えれば、他の田園地帯も都市より危ないのでしょうが。でも広島に近い鳥取とが島根の交通事故は広島の13%ぐらいしかありません。それならば、別の原因があるかもしれません。私は日本の地形はあまり分かりませんが、どうやら広島に山と曲りくねった道がたくさんあるので、事故が起こりやすいです。もう一つの原因は広島に車が多くて、運転者の不注意が他人に影響を与えます。ところが、車が少ない地方では無謀運転をしても、あまり事故が起こりません。

広島は危ないと言っても、一般的に、日本はアジアの中で安全な国です。たとえば、韓国の車の数は日本の半分ぐらいだけれども、事故率は日本より高いです。

私が広島で二年間暮らしている間、私も友達も知らない人も元気で安全に生活できるといいと思います。今まで、一応私の意見ですが、皆さんは運転したり、自転車に乗ったり、歩いたりする時、どんな経験がありますか？

ありがとうございます

マルタ・アルカソタラ

みなさん、こんにちは。私の^こ国はメキシコ^ほです。日本に四月にきました。最初^{さいしょ}に私の母^{はは}国^{こく}について話^{はな}します。メキシコはたくさんの^{かい}面白^{おもしろ}い所^{ところ}たとえ^{たと}ば高い山^{やま}、火山^{かざん}、きれいな海^{かい}岸^{がし}と海^{うみ}、木^き、密^{みつ}林^{りん}、砂^さ漠^{はく}やたくさんのピラミ^{ひらみ}ット^{つと}があります。母^{はは}国^{こく}の料理^{りょうり}はおいしいです。が時々^{ときどき}少し辛^{から}いもの、たとえ^{たと}ばタコス、モレ、エソ^{えそ}チラダス^{きた}など^ながあります。気^きこうもいろ^{いろ}いろ^{いろ}です。北^{きた}は冬^{ふゆ}がとこも寒^{さむ}いですが夏^{なつ}はとこも暑^{あつ}い^{あつ}です。母^{はは}国^{こく}の中央^{ちゅうおう}はいつもきこうが^かおんだんで、南^{みなみ}はいつも暑^{あつ}い^{あつ}です。でもたくさん^{たくさん}「ウラカソ」^はがあります。「ウラカソ」^は日本語^{にほんご}で台風^{かぜ}です。私の家族^{かぞく}はメキシコ^{メキシコ}シティ^{シティ}にすんでいます。メキシコ^{メキシコ}シティ^{シティ}は大きくて面白^{おもしろ}い^{おもしろ}です。私は^{わたし}大好き^{だいじ}です。

つきに私^{わたし}は日本^{にほん}の生活^{せいかつ}について話^{はな}します。メキシコ^{メキシコ}は四月四日^{しがつよっぴ}に出^いました。家族^{かぞく}は悲^{かな}し

かっ^{どろ}たし、私^{うれし}も少し^{かな}悲^{かな}しかったですけれども
同時^{じゆうじ}に嬉^{うれ}しかったです。

日本^{にっぽん}では一日^{いちにち}東京^{とうきょう}、そして大阪^{おおさか}ですごし、
フフ^{ふふ}さんと知^しり会^あって、セサル^{せさる}さん、フフ^{ふふ}さ
んと私^{わたし}で飛^ひ行^{こう}機^きにの^のって、それから新^{しん}幹^{かん}線^{せん}に
の^のりました。

そして、東^{ひがし}広^{ひろ}島^{しま}駅^{えき}へ来^きました。そこでは私^{わたし}
をたま^{たま}おか先生^{せんせい}と私^{わたし}のチユー^{ちゆう}ター^{たー}ま^まや^やま^まゆ^ゆう
こ^こさん^{さん}が待^{まち}っていました。そのあとで国^{こく}際^{さい}交^{こう}
流^{りゅう}会^{かい}館^{がん}へ行^いきま^ました。

次^{つぎ}の週^{しゅう}、開^{かい}講^{こう}式^{しき}が^ありま^ました。先^{せん}生^{せい}た^たち^は
み^みん^んな^ない^いき^きま^ました。そのあとで授^{じゅ}業^{ぎやう}を^はじ^じめ
ま^ました。先^{せん}生^{せい}た^たち^はた^たわ^わた^た先^{せん}生^{せい}、さ^さと^とう^う先^{せん}生^{せい}、
く^くわ^わば^ばら^ら先^{せん}生^{せい}、中^{なか}川^{かわ}先^{せん}生^{せい}、ふ^ふか^かみ^み先^{せん}生^{せい}、い^いま
い^いし^し先^{せん}生^{せい}、な^なか^かや^やま^ま先^{せん}生^{せい}、た^たま^まお^おか^か先^{せん}生^{せい}、さ
と^とう^う先^{せん}生^{せい}、み^みさ^さと^と先^{せん}生^{せい}、か^かん^んだ^だ先^{せん}生^{せい}、ふ^ふく^くだ^だ
先^{せん}生^{せい}い^いつ^つも^もと^とも^も親^{しん}切^{せつ}で^す素^す晴^はら^らしい^いで^す。あ
り^あり^りが^がと^とう^うご^ござ^ざい^いま^ました。

開^{かい}講^{こう}式^{しき}の^あと日^{にっ}本^{ぽん}語^ごの^{べん}勉^{けん}強^{きやう}を^はじ^じめ^めま^ました。
そ^それ^れに^に友^{とも}達^{だち}を^{たず}ね^ねたり、時^{とき}々^{どきどき}岡^{おか}山^{やま}へ^い行^いっ^たり

しました。私の日本人のお母さんお母さんも訪問ほうもんしました。
した。たけいひろ子たけいひろこさんと田中ひろ子たなかひろこさんは
とても親切しんせつで本当ほんとうの母親ははおやのようです。名古屋なごや屋や
へ行いって、友達ともだちの長谷川すみ子はせがわすみこさんの家族かぞくも
訪問ほうもんしました。日本人の友達ともだちは私わたしに日本にほんの文ぶん化が
を教おしえてくれました。日本の料理りょうり、お茶会ちやかい、
日本にほんのふつうの生活せいかつ、日本語にほんごを勉強べんきょうします。

ホストファミリーほすとファミリーのますはらみちよさんの
家族かぞくはとても親切しんせつです。日本人の友達ともだちはスベ
イソ語いそごと英語えいごが話はなせません。そこで日本語にほんごを
教おしえてもらいます。とても面白おもしろいです。

私の先生せんせい、岡田みつ正おかみつせい主任教授しんしんと助教授すけがうの
おくた先生せんせいとなかの先生せんせいはいつも手伝てつたってく
たたさいました。とてもお忙いそがしかったようでした。
た。研究室けんきゅうしつは大好きだいじです。いろいろな研究けんきゅうの
じっけんもぜんぶ面白おもしろいです。

日本語にほんごのクラスも大好きだいじです。クラスには
ラレーさん、ニライさん、ホケさん、ソムチ
ヤイさん、フフさんと私わたしがいて、いっしょに
勉強べんきょうします。そしてその他ほかにみんなの国くにの文ぶん

仕かについて話はなして楽たのしみます。いしょにいろ
いろなところ宮島みやじま、広島市ひろしま、マツダ、尾道おのの
花火はなび、鏡山かがみやまの桜さくらへ行おもきました。とても面白おもしろか
ったらでした。

来月やまぐちニライさんとホケさんとオラルさんは
山口大学いへ行まきます。でもいつまでも私は三
人のたよりを待まっています。

ラレーさん、リソさん、ソムチャイさん、
フフさん、セサルさんと私は広大で勉強とくしま
す。時々集ときどきあつまりましよう。

私はとても幸こうんです。日本にへ来れたから
です。日本で私わたしはいい友達ともだちができました。そ
してたくさん話はなして、まなぶことがたくさん
ありました。

今日けんしゅう、みんなは日本語研修げんじゅうコースを全部お
わって、今度は専門せんもんの勉強はじを始めます。それ
ではみなさんががんばってください。

先生せんせいがた、みなさんありがとうごございまし
た。前に誰たれかが「日本語研修けんしゅうコースは練習れんしゅうで
す」と言いいましたが今度は日本語を勉強とくする

た^ため^めに^に使^{つか}いま^ます。新^{あたら}しい^い日^に本^{ぽん}人^{にん}の^の友^{とも}達^{だち}を^を作^{つく}り
ま^ます。旅^{りょ}行^{こう}へ^へ行^いき^ます、日^に本^{ぽん}の^の楽^{たの}しい^い普^ふ通^{つう}の^の
生^{せい}活^{かつ}を^をし^しま^ます。

みなさん、ありがとうございます。

私の初めての日本

キョウカイカ・ソムチャイ

私はキョウカイカ・ソムチャイといます。
今年4月にタイからまいりました。私は日本
では広島大学で食品工学を勉強するつもりで
すが、日本語がでさなかつたので4月から9
月まで広島大学の日本語研修コースで日本語
を勉強しました。

私は日本に初めて来た時にさくらを見まし
た。さくらはとてもすばらしかったです。私
と日本人の友だちは花見をしました。とても
面白かったです。日本の春はとても寒かった
ので私は病気になるしました。

日本語の授業は毎日、朝9時55分から午後
4時40分までありました。日本語のクラスに
は留学生が6人いました。みなさんは色々な
国から来ました。メキシコやベトナムやバン
グラデ、シュなどの人たちがいました。初め
私たちは日本語がでさませんでした。でも今
はだんだんわかるようになりました。日本語

2

の先生方はとてもしんせつなので勉強は楽し
かったです。毎朝発音はつおんがあって、火木の午後
は「ヤンさん」のビデオを見ました。私はヤ
ンさんが一番好きです。ほかの勉強もたくさん
ありました。文法やリーダーや漢字などを
勉強して、ビデオを見て日本の音楽を聞きました。
私は日本の音楽が大好きなので時々日
本の歌を歌いました。

また、金曜日に時々私たちと先生方は見学
に行きました。広島平和公園や広島城や宮島
やマツダのこうじょうなどへ行きました。私
は平和公園に関心を持っているので8月6日
にもう一回友だちと行きました。小泉首相も
見ました。私は宮島の花火へ行きたかったで
すが、時間がなくて行けなくてざんねんでし
た。でも、また来年宮島へ見に行こうと思っ
ています。

私の初めての日本は色々びっくりしたこと
がありました。たとえば、私はサッカーが大
好きですが、日本ではサッカーはあまり人気

がありませんでした。野球が一番人気がありました。私は毎日テレビで野球を見るので野球が好きになりました。また、日本の家はちょっと狭いし山の中にもたくさんあるのでびっくりしました。

私は日本の料理をたくさん食べました。すしや天ぷらやうどんやそばやかつ丼などを食べました。私はすしが一番好きですが、高くてあまり食べていません。私は広島のお好み焼きも好きです。食べたあとにおなかがいっぱいになります。日本の米はタイの米とちがいます。日本の米はちょっとねばねばして食べるのがむずかしかったです。私ははしの問題がありませんでした。タイでめんを食える時はしを使っていたからです。

私のホストファミリーはまゆみさんとひでひろさんです。お宅へ二回うかがいました。彼らはとてもしんせつなので楽しかったです。私たちはいっしょにゴルフをしました。岩国のきんたいきょうもいっしょに行きました。

まゆみさんたちに色々な料理をごちそうして
いただきました。

私はこれから食品工学を勉強してじっけん
をたくさんしたいです。専門は日本語で勉強
しますが、私はいっしょうけんめいがんばり
ます。食品工学の先生方、みなさん、どうぞ
よろしくおねがいします。

今日が私たちみんなが会うさいごの日でし
ょうか。私たちの友だちは何人かちがう大学
へ行きます。みなさん、日本語の勉強をがん
ばりましよう。さいごになりましたが、ホス
トファミリーと留学生センターの先生方は色
々教えてくださいました。ほんとうにありが
とうございました。私はまだ日本語をがんば
ります。みなさん、お元気で。

私のホストファミリー

私は今年(ことし)の4月に日本へ来て新しい生活を始めて、びっくりするよなすばらしい話を聞きました。その話は、250〜300キロの富士山ロードで走る新幹線、侍、酒、着物、現代ファッション、日本相撲、その中にも感動した日本人は山田治明さんです。

2002年04月28日、広島市の国際交流館で第一回ホストファミリーパーティーに招待されました。私はちびっ子一人だけですが、英語ができません。山田さんがあまり返りまして、それ以来、毎日日本語で話しかけてくれます。山田さんは60歳ですが、大分少しかつた。山田さんは、私に日本語を教わってくれました。山田さんは、私に日本語を教わってくれました。山田さんは、私に日本語を教わってくれました。

パーティーの後の家で晩ご飯と一緒に出かけました。山の次は旅行に出かけた。準備は旅行の準備を。山田さんを見えり整はじめるのは初めです。奥さんは10年前から、山田さんは会社で副会
 に日本人の家で私と私の旅行に出かけた。準備は旅行の準備を。山田さんを見えり整はじめるのは初めです。奥さんは10年前から、山田さんは会社で副会
 だ。山田さん。旅行に出かけた。準備は旅行の準備を。山田さんを見えり整はじめるのは初めです。奥さんは10年前から、山田さんは会社で副会
 った。山田さん。旅行に出かけた。準備は旅行の準備を。山田さんを見えり整はじめるのは初めです。奥さんは10年前から、山田さんは会社で副会
 だけでした。私は旅行の準備を。山田さんを見えり整はじめるのは初めです。奥さんは10年前から、山田さんは会社で副会
 ら、かなりうれしかったです。駅から近くの小を御馳走してくれ
 くなかったです。ラーメンとビールを御馳走してくれ
 ャンポンラーメンとビールを御馳走してくれ
 ました。この食べ物私には大好きです。山田さんの家は山の側で山や町や海の風景
 が美しく見えたり整理されていまして。日本に泊まるのは初めです。奥さんは10年前から、山田さんは会社で副会
 泊まるのは初めです。奥さんは10年前から、山田さんは会社で副会
 かたです。奥さんは10年前から、山田さんは会社で副会
 は結婚していらるから、山田さんは会社で副会
 でいます。急に私は山田さんが会社で副会
 ました。今山田さんは会社で副会
 で広島ホームステイクラブで副会
 ます。

山田さんにベトナムのお土産を差し上げて
、山田さんも私に奇麗な絵とシツをくれま
した。そして、山田さんが私に古いベトナム
の学生が日本語で簡単に書いた書類を見せま
した。そして、テレビを見ながら山田さんに
お風呂のお湯を入れて貰って、私は有り難く
思いました。

その夜「次の旅行でどうやって山田さんに
たくさん話したことを言うか」と思ってい
て寝られませんでした。

次の朝私たちは早く起きました。山田さん
が朝ご飯を作って、日本語を私に教えてくれ
ました。私は全部聞いて書きました。例えば
「s t h a w b e r n y はいちご」「g r a
p e はぶどう」「さとうはあまい」「しおは
からい」などなど。山田さんは私の最初の日
本語の先生になりましたよ！

旅行ではまず三原市へ行って本屋で英和辞
典を買いました。不運にも、この辞典は大体
漢字で書いてあるから便利ではありませんで

した。
 そ、て、三原市から、ふゆい、くち、じま、へ、行、き、ま、し
 た。内海は、平穩で、澄ん、で、い、て、味、を、島、の、間、に、す、ば
 ら、し、い、瀬、戸、田、町、は、小、さ、く、て、興、静、か、で、伝、耕、三、寺、博、物、の、館、の、ま、し
 た。あ、り、ま、し、た。道、を、歩、い、て、仏、教、の、寺、に、広、い、庭、が、あ
 店、が、あ、り、ま、し、た。その、古、島、と、奇、麗、な、ク、ジ、の、上、に、
 を、見、物、し、ま、し、た。た、く、さ、ん、の、回、り、に、色、々、な、建、造、物、が、あ
 が、あ、っ、て、ま、し、た。寺、の、影、り、物、の、コ、レ、ク、シ、ョ、ン、「、未、来
 少、し、い、ま、も、持、ち、が、と、も、よ、か、っ、た、で、す。山、の、上、に、
 っ、て、気、持、ち、が、と、ほ、の、り、物、の、尾、道、へ、行、く、前、そ、こ
 面、白、い、白、い、石、の、彫、り、物、の、尾、道、へ、行、く、前、そ、こ
 心、の、丘、」が、あ、り、ま、し、た。尾、道、へ、行、く、前、そ、こ
 で、お、い、し、い、緑、茶、を、初、め、て、飲、ん、で、み、ま、し、た。少
 し、休、み、な、が、ら、ま、た、山、田、さ、ん、に、「、h、e、l、m、e、
 t、は、か、ぶ、と、」、「、t、i、g、e、r、は、と、ら、」、「、o、c、t、
 o、p、u、s、は、た、こ、」、「、p、e、a、c、o、c、k、は、ク、ジ、ヤ
 ク、」、「、b、l、o、w、f、i、s、h、は、ふ、ぐ、」、「、s、e、a、c、
 u、c、u、m、b、e、r、は、な、ま、こ、」と、か、を、教、え、て、貰、い
 ま、し、た。

尾道で山田さんに刺身を御馳走して頂きま

した。おちこちで店と画廊を見ました。人が
多^{おお}くいて、尾道港祭り第59回を乗し^{もよお}く催^じし^{せん}て
いました。それ^{それ}から^{ぶん}口^が一^ちフ^ちウ^ちエ^ちイ^ちで千光寺山
へ行^いっ^かて、寺と文学の小道の古い日本^{ほん}の詩人
の版^{はん}画^がのサインをたくさん見て、本^{ほん}当^{とう}に面白
かったです。

そろそろ帰ります。私^{わたし}は少^{すく}し心^{こころ}配^{はい}していま
した。ドルは持^もっ^てていま^{いま}した^{した}が円^{えん}は十^{じゅう}分^{ぶん}では
なくて、その日は土曜^{どよう}日^{にち}でお金^{かね}を両^{りょう}替^かでま
せんでしたから。

系^{けい}崎^{さき}へ帰^{かえ}って^{って}から山^{やま}田^ださん^{さん}は天^{あま}婦^め羅^らを^を買^かっ
て食^{しょく}事^じを作^{つく}っ^ておい^いし^しく^く食^くべ^べま^まし^した^た。

それでは私^{わたし}たち^{たち}は疲^{つか}れ^れて^てい^いる^るから^{から}甲^{こう}く^く寝^ねま
した。その夜^よ私^{わたし}は気^き分^{ぶん}が^がよ^よか^かっ^たで^です^す。

次^{つぎ}の朝^{あさ}、山^{やま}田^ださん^{さん}が西^{さい}条^{じょう}に^に行^いく^く電^{でん}車^{しゃ}の^の方^{ほう}向^{きょう}
を^をよ^よく^く教^{おし}え^えて、切^{きり}符^ふを^を買^かっ^て下^{くだ}さ^さい^いま^まし^した^た。

私^{わたし}は山^{やま}田^ださん^{さん}に^に本^{ほん}当^{とう}に^に感^{かん}謝^{しゃ}し^しま^まし^した^た。

今^{いま}ま^まで^で何^{なに}度^ども^も山^{やま}田^ださん^{さん}と^と会^あい^いた^たか^かっ^たで^です^す
が勉^{めん}強^{きやう}が^がと^とも^も忙^{いそ}し^しい^いか^から^ら時^{とき}々^々山^{やま}田^ださん^{さん}に^に電^{でん}
話^わを^を掛^かけ^けま^まし^した^た。今^{いま}度^ど山^{やま}田^ださん^{さん}に^に会^あい^いに^に行^いこ

うと思^{おも}っています。山^{けっ}田^{わす}さんお元気で！
このことは決して忘れないでしょう。

テヘランと広島の違い

ラレー・ニクファルジャム

1. きせつ

テヘランは広島と同じく四つのきせつがあります。春、夏、秋、冬です。春はテヘランのほうが広島より少し暖かいです。テヘランの夏は広島と同じですが6月はあまりむし暑くありません。今広島は秋と冬の天気はわかりませんが、先生と友達によると秋にはたくさん台風がくるそうです。冬はテヘランよりこのほうがとても寒いと聞きました。

2. 生活

2. 1. すまい

テヘランのすまいのほうが広島より大きいです。テヘランのすまいではガスをよく使います。電気のほうがガスより高いです。だいたいカーペットがへやにあります。人によってはへやに入る前にくつをぬぎます。テヘランではやちんが高いです。だいたい一か月

のキロウリよウの70パーセントかかります。

2. 2. こうつうきかん

テヘランではバスやタクシーや自動車を使います。自転車はあまり使いません。バスは安いですが不便です。バスのじこくひょうがないからです。でもタクシーは日本より安くて便利です。ほんたいに広島やでんしゃや市内でんしゃはともベイリです。

2. 3. 食べ物

テヘランの人と広島の人の食べる物はまったくちがいます。かいやウリなどはぜんぜん食べませんが魚は食べます。なまの魚は食べられません。日本人はたくさんジュースやお茶などを飲みます。イラン人はよくこう茶を飲みます。またイラン人はたくさんくだもの食べます。私の国にお酒の店はぜんぜんありません。イラン人は日本人と同じくごはんを食べます。テヘランでは色々なパンとナンが

あります。ばんごはんとあきごはんにはよくパンを食べます。うどんやそうめんなどはありませんが時々スープにヌードルを使います。

2. 4. 働く時間としゅうまつ

働く日は土曜日から木曜日までです。大学としてきな会社はいつも木曜日は働きません。金曜日はしゅうまつです。国の木曜日と金曜日は日本の土曜日と日曜日と同じだと思えます。働く時間はふつう午前8時から午後3時までです。もししゅうきゅう2日ならば午後5時まで働かなければなりません。店が開いている時間はちょっとちがいます。食べ物の店は7時半ぐらいに始まりですが、ふくの店や本やなどは10時ぐらいに始まりです。イラソではサマータイムがありますから、春と夏は時計は1時間早いですか、秋と冬の時間はかわりません。

2. 5. デパートとじどうはんばいき

テヘランより広島の方がデパートはたくさんあります。テヘランにはデパートのかわりにそれぞれの店があります。たとえばパンや肉ややくつやなどです。テヘランにコンビニと自動はんばりきはぜんぜんありません。飲み物やタバコや新聞などは店で買えます。ATMマシンは同じようなきかいが2年前からありますが、まだあまり使いません。

2. 6. 大学の生活

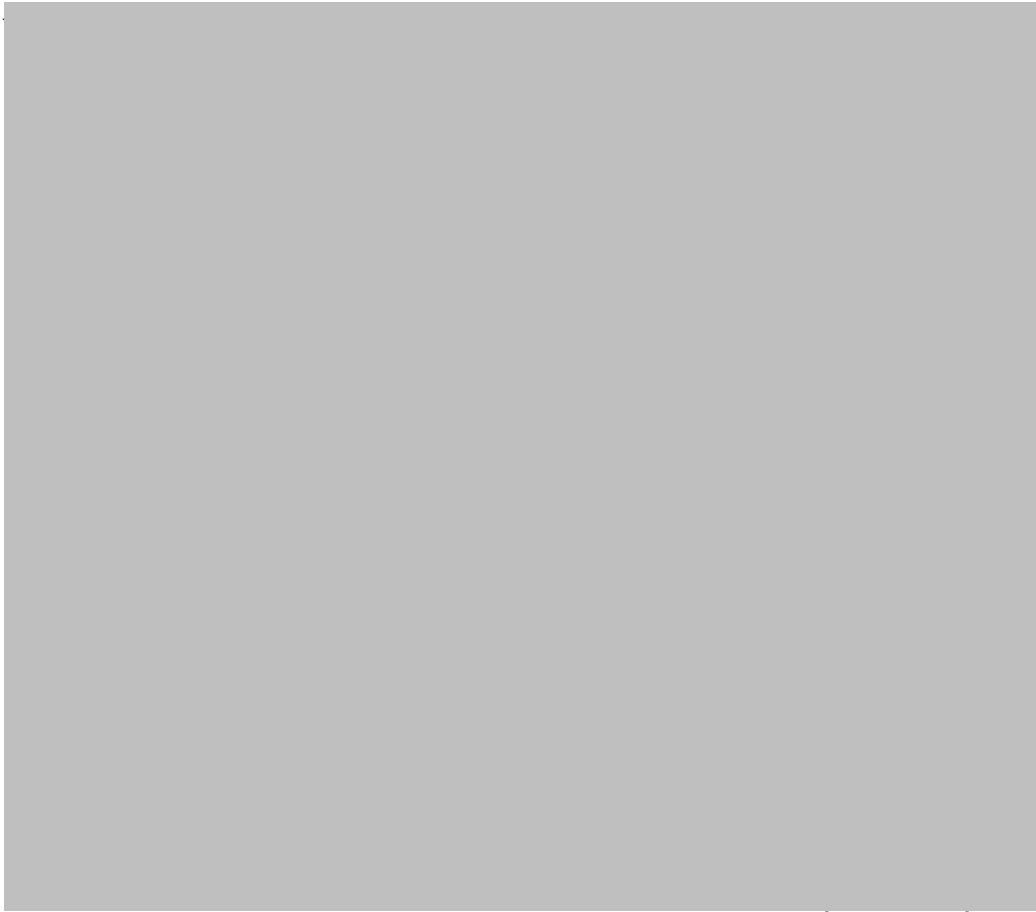
テヘランではアルバイトはよく大学の中でします。たとえば図書館や食堂などです。イラン人の学生はレストランで働きません。もしイラン人の学生が外で働きたければこういう生に勉強を教えつけてあげます。イラン人の学生はお酒を飲めばすぐたいがくさせられます。イランの大学の食堂ではみんな同じ食べ物を食べますが、広大の食堂では色々な食べ物があるのほしい食べ物をえらべます。日本人学生と先生はいっしょにけんきゅう室のそう

じをします。でも私の国では学生と先生はあまり大学でそうじをしません。国の大学院生のふくと日本の大学いん生のふくはちがいます。イランでは女の人にはスカーフを使わなければなりません。また長いふくを着なければなりません。男の人は半ズボンと半そでを着てはいけません。

3. 日本語とペルシア語

日本語にはもじがろしゆるいありますが、ペルシア語は1しゆるいだけです。ペルシア語のふんと日本語のふんのこうごうは同じです。どうしはふんのおわりにあります。ペルシア語はいつも右から左へすいへいに書きます。でも日本語では新聞は上から下へすいちよくに書きますが、ほかには左から右へすいへいにも書きます。ペルシア語には日本語と同じていねいなことばがたくさんあります。さいきんは、日本と同じく、国に外国のことばがたくさん入っています。でも国では外国のこ

とばをペルシア語にやくしますが、日本では英語のことばをそのまま使います。



日本語の本



私が日本に来たき、かけ

オスマン・オラル

私はオスマン・オラルと申します。4月3日にトルコから、ここ広島大学で勉強するために研究生として参りました。

まず最初に、自分自身について簡単に話したいと思います。私は1978年にトルコのアイドゥンという街で生まれました。アイドゥンはエーゲ地方の西側に位置しており、海に近い街です。そこはトルコの有名な観光地の一つで、平野に富んでいます。そこでは夏にはイチジク、秋にはスモモ、冬にはオリーブなどの農産物が採れる畑が広がっており、訪れる人々の目を楽ませています。またアイドゥンの各地には多くの遺跡が残っており、古代ギリシャ時代やローマ時代の建造物を今なお目にすることができます。この歴史的にも有名な街で、私は高校時代まで過ごしました。

当時、私は英語で授業が行われる学校に通っており、トルコ語の他に英語を7年間勉強

していました。しかし、他の外国語も勉強したいと思い、大学入学を機に日本語を勉強することに決めました。そのため、チャナッカレにあるチャナッカレ三月十八日大学の日本語教育学科に入学しました。この大学の名前は、トルコの歴史に大きく関係しています。かつて、第一次世界大戦が起こる前、オスマン帝国ではイスラム主義を保守しようと独裁政治が行われていました。しかし、1914年の第一次世界大戦の時に、その街で解放戦争が起こりました。オスマン帝国を支持したイギリスやニューギニアなどの体制側とそれに反対したトルコ解放軍との戦いでした。この戦いで、トルコ解放軍は偉大な勝利を収めました。このチャナッカレ解放戦争とその後に起こったトルコ独立戦争によって共和制が築かれたため、トルコにとって重要な意義を持つ戦争でした。このチャナッカレ解放戦争が起こった日、それが三月十八日です。現在でもなお、その戦争について忘れないよう、

毎年三月十八日には追悼式が行われています。

このトルコの歴史に深く関係した大学で、私は5年間日本語を勉強しました。1996年に入学する際には、日本語を勉強することが私の人生に大きく影響するとは思っていませんでした。大学時代、私は頑張って日本語を勉強しました。大学4年生の時、私は初めて日本を訪れました。私の学科から6人が日本人の研修旅行をする機会があり、幸運にも私はその6人の中の一人に選ばれたのです。その研修旅行は本当に楽しいものでした。広島、京都、東京の三都市を訪れ、いろいろな場所を見学しました。その時にも、私はここ広島大学で研修プログラムを受けました。しかし、研修旅行は2週間という短い期間でした。本当に私にとって意義のある旅行でしたが、日本を知るには不十分でした。私は一緒に行った友達と再び日本に来ることを誓い合いました。

トルコに帰ってから、私は日本で勉強した

いと思い、文部省が行っている留学試験を受けました。本当にこれは難しい試験でしたが、日本を再び訪れるため、私は一生懸命勉強しました。無事それに合格し、日本に留学できると分かったとき、私は本当に嬉しかったです。

留学する前まで、日本で生活できるかどうかとても不安でした。しかし、広島大学の先生方を始めとし、チューターの方や友人達が私をいろいろとサポートしてくれました。本当に心から感謝しております。私の広島での滞在はスーパーが少し遠いことを除けば、本当に快適なものでした。4月から私は本当に多くのことを学びました。日本語や専門科目はもちろんですが、日本の文化や社会について本を読むだけでは分からない多くのことを経験しました。本当にありがとうございました。

私は、これから山口大学に行き、研究を続けていきます。ここ広島大学で学んだ経験を

生かして、山口大学でも頑張っ、ていこうと思
います。

ご静聴いただきありがとうございました。

パラオという島

ニライ・メツール

皆さんこんにちは。私はニライ・メツールと申します。パラオという島からまいりました。パラオは日本の南にあってフィリピンの東にあります。赤道から私の国はほく17度にあります。パラオは343の小島からなります。レパとはコロールといひます。一番大きい島はバベルダオブといひます。バベルダオブはたての長さは80キロ、よこの長さは30キロぐらいです。今人口は2万人ぐらいです。とても少ないのでたぶんパラオの人々はみんなが広島カープのスタジアムに入ることが出来ます。

第一次世界大戦のあと、パラオは日本の委任統治領となりました。日本はパラオで公立学校としょくぎょう学校もせつりつしました。だからその時パラオの人々は学校に初めてはいりました。学校でパラオ人は日本語とほかのぎじゆつを勉強することが出来ました。

大部分のバラオ人は3年生まで日本語を勉強
 することができました。ある人々はもっと高
 いレベルにはなりましたがその人々は幾人か
 だけですが。年輩ねんぱいの人によると2%しかいない
 らしいです。

1922年にバラオは日本の南太平洋のし
 ょゅうちのかんりの中心でした。その時バラ
 オの人口は4万人になりました。でもバラオ
 人は10%でした。私の父によると日本はパ
 ラオのコロルという島をとてもきれいにしま
 した。いろいろな工場やレストランやヤッ
 キョクなどをたてました。お風呂場と神社もあ
 りました。あいにく第二次世界たいせんのあ
 と、アメリカは日本の建たてた物を全部こわし
 てしまいました。今日、神社のあった所で2
 つの鳥居が見ることが出来ます。今日もバラ
 オで日本が話せる年輩の人がいます。バラオ
 語もいろいろな日本語のことばを使います。
 たとえば飛行機や自動車やたたみやまどなどを
 よく使います。

広島大学へくる前に日本へ来たことがあり
 ますが、その時かんこう券を買ったので、
 日本の生活はよくしりませんでした。来る前
 は日本の留学生の生活はまずかしくないと思
 いました。その考え方は四月二日のあとすぐ
 消えました。広島大学の国際交流会官にけい
 めつ着いた時に、たまおか先生がいろいろち
 しょういをくださりました。しょういは銀行
 こうざやほけんや外国人とよろしく証明書につ
 いてです。そのあと私は日本の生活はやさし
 くないとわかりました。その時カタカナは書
 けましたので名前だけ書きこむことができました。
 私のデータが全部しつこくなりました。
 ともりさんいろいろありがとうございました。
 彼の^おおかげでたまおか先生にいたいた
 しょういは三日間で全部書きこむことができました。
 さいしょうはこのような日本のシステムに
 私たちはあ、どうされました。でもシス
 テムに入ったらすぐそれほど大変じゃなくな
 りました。

先生方いろいろありがとうございました。
これまでの私の広島大学のけんは教育的
であもしろいものでした。このような経験は
お金では買えません。心から感謝します。
ありがとうございました。

私の日本での生活

ホクモハマドゾウル

先生方と友達のみなさん、始めまして。私はホクモハマドゾウルというものです。私は今年の四月二日にバソグラデシュから日本へまいりました。私はまずバソグラデシュからバソコクへ行き、それからバソコワから関西空港へ来ました。そのあとで新幹線で東島えきへ行ってそのあと東島えきから大学のバスでこくさいこりやう会館へ来ました。そのあとこくさいこりやう会館でたまおか先生にじぎょうのよていをせつめいしていただきました。そのあと四月七日まで休みだからひまでした。日本へ来た時さびしか、たでも私の国の友達はいつも気をつけてくれたのでだんだん気持ちがよくになりました。ところで日本人はとこもしんせつで私日本での生活はだんだんらくになりました。私たちのじぎょうは二十日から始まりました。

私は国で日本語をぜんぜん勉強していませ

んでした。広島大学に来て初めて日本語を勉強しました。私たちのじゅぎょうは毎日朝9時55分始まって、4時50分に終わりました。

国では私は時々自転車で大学までかよいました。その時寒くてちょっと問だいでした。でも、体がとてもじょうぶになりました。

私が日本語を勉強したクラスに留学生が9人いました。色々な国からきていました。イランやタイやメキシコやパラオやベトナムやイギリスなどでした。みんなとてもしんせつです。

さいしょの日本語のじゅぎょうはとてもむずかしかっただでした。かんじの書き方はとてもむずかしくてたいへんでした。ぶんぽうやリーダーの勉強だけではなく、ヒヤリソグのれんしゅうをしたり、ビデオを見て日本語のれんしゅうをしました。私たちはみんな『ヤンヤン』のビデオが大好きです。

また、私たちは時々金曜日に見学がありました。あちこち有名なところ、ひろ島市とみ

わ島とマツダへ行きました。どの見学も楽し
かったです。

小さなクラスのじゅぎょうは、昼休みが終
わって、1時20分から始まりました。その
クラスでは『ヤソさん』のビデオやかんじや
ぶんぽうのねんしゅうをたくさんしました。
その時『ヤソさん』のビデオはとてもあもし
るくそうねしかったです。

こんな生活をしたので、今私は日本語のこ
とばが少しわかります。私は毎日近くのスー
パーで買い物したり、色々な日本人と話した
したので今日本語でちょっと話せます。これ
から二年ぐらい日本でくらすので、日本のこ
とばがも、とよくわかるでしょう。

私は時々ホストファミリーの自宅にじゃま
しました。そこでは日本語をたくさん話しま
した。そして、日本の色々なりょうりをごち
ょうになりました。はじめ、日本のりょうり
はあまり食べられませんでした。でも私はだ
んだん日本の料理を食べられるようになりま

した。とてもおいしいです。ごちそうさまでした。

私はこくさいこうリ^ンう会館にすんでいます。そのじむしつの人^々はとこもしんせつです。その人たちはとてもよくあせわしてくださいませ。私たちはかんしゃしています。こくさいこうリ^ンう会館はとてもきれいです。たくさん山があるから毎日見えています。またこのばしょはとてもあんぜんです。たとえば夜になると9時に門をしめるのでカードを持っている人だけ入れます。

けんし^ンうについては日本語をならうのにとこもこうかがあ、たと思ひます。先生方はとこもしんせつで、じ^ンぎ^ョうはおもしろか、たです。先生方もじむの方々もとてもよくして下さいました。

このスピーチは日本語^{ハク}研修^{ウニ}コースのさいごのけんし^ンうです。私の日本語はいかがでしょう。とにかく外国語の勉強はむずかしいです。だから日本語がまだじょうぶになりま

せん。まだへたです。先生、ホストファミリーのみなさん、い。しょに日本語を勉強したみなさん、色々とありがとうございました。いつかまたお会いしましょう。お元気で。

日本に来る前に

セサル・ベラスケス

私は七年前、教員研修で日本に来ました。しかし、一年半では日本語や日本の文化を勉強するための時間は十分ではなくて、メキシコに帰ってから、もう一回日本へもどらないといけないとずっと思っていました。だから、文部省の奨学金をもらえる事が分かった時すごくうれしくなりました。けれども一つ心配なことがありました。仕事のことでした。

1998年3月から私は校長になりました。学校は大きい社会問題をかかえている地域にありました。生徒も色々な問題がありました。たとえば、働いている子供がいたし、お父さんやお母さんがいない子供がいたし、道に住んでいた子供や麻薬を使う子供、犯罪を犯す子供などがいて、本当に大変でした。

でも先生たちといっしょにがんばって、子供のために色々なプログラムを作って学校を

おもしろくしました。たとえば、子供が勉強したいことから特別な授業（サッカーやおどりなど）をつくったり、外によく見学に行ったり、クラスみんなでカウンセリングみたいな授業をして先生と子供たちは友だちになりました。それから子供はうれしそうな顔で毎日学校へ行って、勉強をがんばりました。

それで生徒と先生たちは私が日本に行くと分かるとさびしそうに、「セサルが行ったら他の校長が来て子供のことを知らなくて、学校はもう一回大変になるかもしれないから、行かないでください」と言いました。そう言われると私はかなしくなって考えさせられて、日本に行くかどうかまよってきました。

よく考えたあと、私は35才ですから、これはラストチャンスだと思いました。だから行くと決めました。これは本当に自己中心的な気持ちです。日本へ行けば、私はとても面白い経験ができます。でも子供たちの問題はまだ残っています。だから、最後はさよなら

と言った時とてもさびしくなって、仕事をやめたくなかったのですが日本にきました。

だから、この自己中心的な気持ちをかえるために、その子供の思い出をもって、日本で出来るかぎりいっぱいのことを習って、がんばらないといけないと思っています。また国に帰って、たくさんの方が出来るようにしたいと思います。

小原先生、留学生センターの先生たち、みなさん、これからもどうぞよろしくおねがいます。

最後にこの六か月日本語をたくさん勉強させていただいて、先生かたどうもありがとうございました。

留学生のみなさん、さんねんながら、違うクラスにいました。けれども、いっしょに見学へ行って、よく話して、よく遊んで、とてもいい友だちができたと思います。だから、ここから、どうもありがとうございました。

東広島、二〇〇二年九月十三日

日本の交通事情

ウォン・ツェリン

皆さん、こんにちは。私は広島でもう5ヶ月住んでいますが、まだ慣れないことがあります。それは、運転者のマナーです。

私は今まで香港、ロンドン、東京と広島に住んだことがあります。この4つの街を比べると、広島、特に東広島の運転者は一番危ないと思います。自分の経験ですが、自転車で国際交流会館からフジグランに行った時、川のそばを通っていました。道はとても狭かったのですが、となりの車は速度を落とさないうまま走って、驚きました。こんな場合は、私が川に落ちてしまう可能性があります。

実は、私はインターネットで日本の交通事故について調べてみたら、結果は私の想像と同じでした。2002年に東京の交通事故は広島より多かったです（広島：1864、東京：7224）、死亡者は東京のほうが広島より少なかったです。東京の交通事故発生率は高

いそうですが、東京の人口も車も広島より多いです（広島県：約 240 万人；東京：約 1300 万人）。私は広島にいる 5 ヶ月のあいだ、学部が学生の夜、車に乗っていた時、そして、私の友達の友達が道を渡っていた時、交通事故で亡くなりました。一方、東京にいた九ヶ月間に、誰かが交通事故にあったことを全然聞きませんでした。

私の観察ですが、広島の運転者はスピードが速く、他の人を気にかけないで運転します。大学の中でも、スピードを出して運転する人をよく見ます。駐車場から出ても、角を曲っても、速度を全然落とさずに運転します。それは、雨が降る日でも、見えにくい夜でも同じです。そんなわがままな態度で運転するのは、私は気になります。

なぜ広島の運転者は不注意か考えると、広島、特に東広島は田舎だから、交通量は東京やロンドンのような都市より少なくで、広島の運転者は他の道路使用者への気づきが都

市でよく運転する人より低いでしょう。そう考えれば、他の田園地帯も都市より危ないのでしょうか。でも広島に近い鳥取とか島根の交通事故は広島の13%ぐらいしかありません。それならば、別の原因があるかもしれません。私は日本の地形はあまり分かりませんが、どうやら広島に山と曲りくねった道がたくさんあるので、事故が起こり易いです。もう一つの原因は広島に車が多くて、運転者の不注意が他人に影響を与えます。ところが、車が少ない地方では無謀運転をしても、あまり事故が起こりません。

広島は危ないと言っても、一般的に、日本はアジアの中で安全な国です。たとえば、韓国の車の数は日本の半分ぐらいだけれども、事故率は日本より高いです。

私が広島で二年間暮らしている間、私も友達も知らない人も元気で安全に生活できるといいと思います。今まで、一応私の意見ですが、皆さんは運転したり、自転車にのった

り、歩いたりする時、どんな経験がありますか？



ありがとうございます

マルタ アルカンタラ

みなさん、こんにちは。私の国はメキシコです。日本に四月にきました。最初に私の母国について話します。メキシコはたくさんの面白い所たとえば高い山、火山、きれいな海岸と海、森、密林、砂漠やたくさんのピラミットがあります。母国の料理はおいしいですが時々少し辛いもの、たとえばタコス、モレ、エンチラダスなどがあります。気こうもいろいろです。北は冬がとても寒いですが夏はとても暑いです。母国の中央はいつもきこうがおんだんで、南はいつも暑いです。でもたくさん「ウラカン」があります。「ウラカン」は日本語で台風です。

私の家族はメキシコシティにすんでいます。メキシコシティは大きくて面白いです。私は大好きです。

つぎに私は日本の生活について話します。メキシコは四月四日に出ました。家族は悲し

かったし、私も少し悲しかったですけども同時に嬉しかったです。

日本では一日東京、そして大阪ですごし、フプさんと知り会って、セサルさん、フプさんと私で飛行機にのって、それから新幹線にのりました。

そして、東広島駅へ来ました。そこでは私をたまおか先生と私のチューターまやまゆうこさんが待っていました。そのあとで国際交流会館へ行きました。

次の週、開講式がありました。先生たちはみんないきました。そのあとで授業をはじめました。先生たちはたわた先生、さとう先生、くわばら先生、中川先生、ふかみ先生、いまいし先生、なかやま先生、たまおか先生、さとう先生、みさと先生、かんだ先生、ふくだ先生いつもとても親切で素晴らしいです。ありがとうございました。

開講式のあと日本語の勉強を始めました。それに友達を訪ねたり、時々岡山へ行ったり

しました。私の日本人のお母さんも訪問しました。たけいひろ子さんと田中ひろ子さんはとても親切で本当の母親のようです。名古屋へ行って、友達の名古屋すみ子さんの家族も訪問しました。日本人の友達は私に日本の文化を教えてくださいました。日本の料理、お茶会、日本のふつうの生活、日本語を勉強します。

ホストファミリーのますはらみちよさんの家族はとても親切です。日本人の友達はスペイン語と英語が話せません。そこで日本語を教えてくださいます。とても面白いです。

私の先生、岡田みつ正主任教授と助教授のおくだ先生となかの先生はいつも手伝ってくださいました。とてもお忙しかったようでした。研究室は大好きです。いろいろな研究のじっけんもぜんぶ面白いです。

日本語のクラスも大好きです。クラスにはラレーさん、ニライさん、ホケさん、ソムチャイさん、フプさんと私がいて、いっしょに勉強します。そしてその他にみんなの国の文

化について話して楽しみます。いしょにいろいろなところ宮島、広島市、マツダ、尾道の花火、鏡山の桜へ行きました。とても面白かったです。

来月ニライさんとホケさんとオラルさんは山口大学へ行きます。でもいつまでも私は三人のたよりを待っています。

ラレーさん、リンさん、ソムチャイさん、フプさん、セサルさんと私は広大で勉強します。時々集まりましょう。

私はとても幸うんです。日本へ来れたからです。日本で私はいい友達ができました。そしてたくさん話して、まなぶことがたくさんありました。

今日、みんなは日本語研修コースを全部おわって、今度は専門の勉強を始めます。それではみなさんががんばってください。

先生がた、みなさんありがとうございました。前に誰かが「日本語研修コースは練習です」と言いましたが今度は日本語を勉強する

ために使います。新しい日本人の友達を作ります。旅行へ行きます、日本の楽しい普通の生活をします。

みなさん、ありがとうございます。

私の初めての日本

キョウカイカ・ソムチャイ

私はキョウカイカ・ソムチャイと言います。
今年4月にタイからまいりました。私は日本では広島大学で食品工学を勉強するつもりですが、日本語ができなかったので4月から9月まで広島大学の日本語研修コースで日本語を勉強しました。

私は日本に初めて来た時に桜を見ました。桜はとてもすばらしかったです。私と日本人の友だちは花見をしました。とても面白かったです。日本の春はとても寒かったので私は病気になりました。

日本語の授業は毎日、朝9時55分から午後4時40分までありました。日本語のクラスには留学生が6人いました。みなさんは色々な国から来ました。メキシコやベトナムやバングラディッシュなどの人たちがいました。初め私たちは日本語ができませんでした。でも今はだんだんわかるようになりました。日本

語の先生方はとてもしんせつなので勉強は楽しかったです。毎朝発音があつて、火木の午後は「ヤンさん」のビデオを見ました。私はヤンさんが一番好きです。ほかの勉強もたくさんありました。文法やリーダーや漢字などを勉強しました。火曜日の午後に日本の文化を勉強して、ビデオを見て日本の音楽を聞きました。私は日本の音楽が大好きなので時々日本の歌を歌いました。

また、金曜日に時々私たちと先生方は見学に行きました。広島平和公園や広島城や宮島やマツダのこうじょうなどへ行きました。私は平和公園に関心を持っているので8月6日にもう一回友だちと行きました。小泉首相も見ました。私は宮島の花火へ行きたかったですが、時間がなくて行けなくてざんねんでした。でも、また来年宮島へ花火を見に行こうと思っています。

私の初めての日本は色々びっくりしたことがあります。たとえば、私はサッカーが大

好きですが、日本ではサッカーはあまり人気がありませんでした。野球が一番人気がありました。私は毎日テレビで野球を見るので野球が好きになりました。また、日本の家はちょっと狭いし山の中にもたくさんあるのでびっくりしました。

私は日本の料理をたくさん食べました。すしや天ぷらやうどんやそばやかつ丼などを食べました。私はすしが一番好きですが、高くあまり食べていません。私は広島のお好み焼きも好きです。食べたあとにおなかがいっぱいになります。日本の米はタイの米とちがいます。日本の米はちょっとねばねばしているので食べるのがむずかしかったです。私ははしの問題がありませんでした。タイでめんるいを食べる時はしを使っていたからです。

私のホストファミリーはまゆみさんとひでひろさんです。お宅へ二回うかがいました。彼らはとてもしんせつなので楽しかったです。私たちはいっしょにゴルフをしました。岩国

のきんたいきょうもいっしょに行きました。
まゆみさんたちに色々な料理をごちそうして
いただきました。

私はこれから食品工学を勉強してじっけん
をたくさんしたいです。専門は日本語で勉強
しますが、私はいっしょうけんめいがんばり
ます。食品工学の先生方、みなさん、どうぞ
よろしくおねがいします。

今日が私たちみんなが会うさいごの日でし
ょうか。私たちの友だちは何人かちがう大学
へ行きます。みなさん、日本語の勉強をがん
ばりましょう。さいごになりましたが、ホス
トファミリーと留学生センターの先生方は
色々教えてくださいました。ほんとうにあり
がとうございました。私はまだ日本語をがん
ばります。みなさん、お元気で。

私のホストファミリー

ファ・ゴク・フク

私は今年の4月に日本へ来て、新しい生活を始めて、びっくりするようなすばらしい話を聞きました。その話は250～300キロのスピードで走る新幹線、春の花見、有名な富士山、日本の相撲、侍、お酒、着物、現代テクノロジーなどです。その中でも優しく持て成してくれた日本人の一人にとっても感動しています。その日本人は山田治明さんで私のホストファミリーです。

2002年04月28日、広島市の国際交流会館で第一回ホストファミリーパーティーに招かれました。私はちょっと厄介でした。山田さんは60歳ぐらいで一人だけ男性でしたから。山田さんだけ英語ができませんし、私も日本語の挨拶があまりできませんでしたから、とても大変でした。それにお互いのことが少ししか分かりませんでした。話は全部身振りと絵と少しの日本語で頑張って言い表

しました。パーティーの後でホストファミリーは私達に日本人の家で晩ご飯を御馳走してくれました。山田さんと私は一緒に電車で糸崎町へ帰って、次の旅行に出かけました。その時は私だけでした。私は旅行の準備をしなかったから、かなりうれしかったですがあまり心地好くありませんでした。駅から近くの小さい店でチャンポンラーメンとビールを御馳走してくれました。この食べ物が私は大好きです。

山田さんの家は山の側で山や町や海の風景が美しく見えました。その家は小さくてかわいくてよく整理されていきました。日本の家に泊まるのは初めてでした。天気はまだ少し寒かったです。

奥さんは10年前亡くなって、お子さん二人は結婚しているから、山田さんは一人で住んでいます。急に私は山田さんを気の毒に思いました。今山田さんは会社を定年退職したので広島ホームステイクラブで副会長をして

います。

山田さんにベトナムのお土産を差し上げて、山田さんも私にきれいな絵とシャツをくれました。そして、山田さんが私に古いベトナムの学生が日本語で簡単に書いた書類を見せました。そして、テレビを見ながら山田さんにお風呂のお湯を入れて貰って、私は有り難く思いました。

その夜「次の旅行でどうやって山田さんにたくさんのお話したいことを言うか」と思っていて寝られませんでした。

次の朝私達は早く起きました。山田さんが朝ご飯を作って、日本語を私に教えてくれました。私は全部聞いて書きました。例えば「strawberryはいちご」「grapeはぶどう」「さとうはあまい」「しおはからい」などなど。山田さんは私の最初の日本語の先生になっていましたよ！

旅行ではまず三原市へ行って本屋で英和辞典を買いました。不運にも、この辞典は大体

漢字で書いてあるから便利ではありませんでした。

そして、三原市から船で生口島へ行きました。内海は平穏で澄んでいて、島の間にはすばらしい橋があるのに私は興味をそそられました。瀬戸田町は小さくて静かで伝統の産物の店がありました。道を歩いて、耕三寺博物館を見物しました。その古い仏教の寺に広い庭があって、たくさんの鳥と奇麗なクジャクが少しいました。寺の回りに色々な建造物があって気持ちがとてもよかったです。山の上に面白い白い石の彫り物のコレクション「未来心の丘」がありました。尾道へ行く前、そこでおいしい緑茶を初めて飲んで見ました。少し休みながら、また山田さんに「helmet はかぶと」「tiger はとら」「octopus はたこ」「peacock はクジャク」「blowfish はふぐ」「sea cucumber はなまこ」とかを教えて貰いました。

尾道で山田さんに刺身を御馳走して頂きま

した。あちこちで店と画廊を見ました。人が多くいて尾道港祭り第59回を楽しく催していました。それからロープウェイで千光寺山へ行って、寺と文学の小道の古い日本の詩人の版画のサインをたくさん見て、本当に面白かったです。

そろそろ帰りですが私は少し心配していました。ドルは持っていましたが円は十分ではなくて、その日は土曜日でお金を両替できませんでしたから。

糸崎へ帰ってから山田さんは天麩羅を買って食事を作っておいしく食べました。

それで私達は疲れているから早く寝ました。その夜私は気分がよかったです。

次の朝、山田さんが西条に行く電車の方向をよく教えて、切符を買って下さいました。私は山田さんに本当に感謝しました。

今まで何度も山田さんと会いたかったですが勉強がとても忙しいから時々山田さんに電話を掛けました。今度山田さんに会いに行こ

うと思っています。山田さんお元気で！
このことは決して忘れないでしょう！

テヘランと広島のみかく

ラレー・ニクファルジャム

1 . きせつ

テヘランは広島と同じく四つのきせつがあります。春、夏、秋、冬です。春はテヘランのほうが広島より少し暖かいです。テヘランの夏は広島と同じですが6月はあまりむし暑くありません。今広島は秋と冬の天気はわかりませんが、先生と友達によると秋にはたくさん台風がくるそうです。冬はテヘランよりこのほうがとても寒いと聞きました。

2 . 生活

2 . 1 . すまい

テヘランのすまいのほうが広島よりも大きいです。テヘランのすまいではガスをよく使います。電気のほ

うがガスより高いです。だいたいカーペットがへやにあります。人によってはへやに入る前にくつをぬぎます。テヘランではやちんが高いです。だいたい一ヶ月のきゅうりょうの70パーセントかかります。

2 . 2 . こうつうきかん

テヘランではバスやタクシーや自動車を使います。自転車はあまり使いません。バスは安いですが不便です。バスのじこくひょうがないからです。でもタクシーは日本より安くて便利です。はんたいに広島バスやでんしゃや市内でんしゃはとてもべんりです。

2 . 3 . 食べ物

テヘランの人と広島を人の食べる物はまったくちがいます。かいやの

りなどはぜんぜん食べませんが魚は食べます。なまの魚は食べられません。日本人はたくさんジュースやお茶などを飲みます。イラン人はよく紅茶を飲みます。また、イラン人はたくさんくだものを食べます。私の国にお酒の店はぜんぜんありません。イラン人は日本人と同じくごはんを食べます。テヘランでは色々なパンとナンがあります。ばんごはんとあさごはんにはよくパンを食べます。うどんやそうめんなどはありませんが時々スープにヌードルを使います。

2 . 4 . 働く時間としゅうまつ

働く日は土曜日から木曜日までです。大学としてきな会社はいつも木曜日は働きません。金曜日はしゅうまつです。国の木曜日と金曜日は日本の土曜日と日曜日と同じだと思

ます。働く時間はふつう午前8時から午後3時までです。もししゅうきゅう二日ならば午後5時まで働かなければなりません。店が開いている時間はちよつとちがいます。食べ物のお店は7時半ぐらいに始まりますが、ふくのお店や本やなどは10時ぐらいに始まります。イランではサマータイムがありますから、春と夏は時計は1時間早いですが、秋と冬の時間はかわりません。

2. 5. デパートとじどうはんばいき

テヘランより広島のほうがデパートはたくさんあります。テヘランにはデパートのかわりにそれぞれの店があります。たとえばパンやや肉ややくつやなどです。テヘランにコンビニとじどうはんばいきはぜんぜん

ありません。飲み物やタバコや新聞などは店で買えます。ATMマシンは同じようなきかいが2年前からありますが、まだあまり使いません。

2 . 6 . 大学いんの生活

テヘランではアルバイトはよく大学の中でします。たとえば図書館や食堂などです。イラン人の学生はレストランで働きません。もしイラン人の学生が外で働きたければこうこう生に勉強を教えてあげます。イラン人の学生はお酒を飲めばすぐたいがくさせられます。イランの大学の食堂ではみんな同じ食べ物を食べますが、広大の食堂では色々な食べ物があるので、ほしい食べ物をえらべます。日本人学生と先生はいっしょに研究室のそうじをします。でも私の国では学生と先生はあまり大学で

そうじをしません。国の大学いん生のふくと日本の大学いん生のふくはちがいます。イランでは女の人にはスカーフを使わなければなりません。また長いふくを着なければなりません。男の人は半ズボンと半そでを着てはいけません。

3. 日本語とペルシア語

日本語にはもじが3しゅるいあります。ペルシア語は1しゅるいだけですが。ペルシア語にはもじが32あります。ペルシア語ぶんと日本語のぶんのこうぞうは同じです。どうしはぶんのおわりにあります。ペルシア語はいつも右から左へすいへいに書きます。でも日本語では新聞は上から下へすいちよくに書きますがほかには左から右へすいへいにも書きます。ペルシア語には日本語と同

じていねいなことばがたくさんあります。さいきんは、日本と同じく、
国に外国のことばがたくさん入っています。でも国では外国のことばを
ペルシア語にやくしますが、日本では英語のことばをそのまま使います。

私が日本に来たきっかけ

オスマン・オラル

私はオスマン・オラルと申します。4月3日にトルコから、ここ広島大学で勉強するために研究生として参りました。

まず最初に、自分自身について簡単に話したいと思います。私は1978年にトルコのアイドゥンという街で生まれました。アイドゥンはエーゲ地方の西側に位置しており、海に近い街です。そこはトルコの有名な観光地の一つで、平野に富んでいます。そこでは夏にはイチジク、秋にはスモモ、冬にはオリーブなどの農産物が採れる畑が広がっており、訪れる人々の目を楽しませています。またアイドゥンの各地には多くの遺跡が残っており、古代ギリシャ時代やローマ時代の建造物を今なお目にすることができます。この歴史的にも有名な街で、私は高校時代まで過ごしました。

当時、私は英語で授業が行われる学校に

通っており、トルコ語の他に英語を7年間勉強していました。しかし、他の外国語も勉強したいと思い、大学入学を機に日本語を勉強することに決めました。そのため、チャナツカレにあるチャナツカレ三月十八日大学の日本語教育学科に入学しました。この大学の名前は、トルコの歴史に大きく関係しています。かつて、第一次世界大戦が起こる前、オスマン帝国ではイスラム主義を保守しようと独裁政治が行われていました。しかし、1914年の第一次世界大戦の時に、その街で解放戦争が起こりました。オスマン帝国を支持したイギリスやニュージーランドなどの体制側とそれに反対したトルコ解放軍との戦いでした。この戦いで、トルコ解放軍は偉大な勝利を収めました。このチャナツカレ解放戦争とその後起こったトルコ独立戦争によって共和制が築かれたため、トルコにとって重要な意義を持つ戦争でした。このチャナツカレ解放戦争が起こった日、それが三月十八日です。現

在でもなお、その戦争について忘れないよう、毎年三月十八日には追悼式が行われています。

このトルコの歴史に深く関係した大学で、私は5年間日本語を勉強しました。1996年に入学する際には、日本語を勉強することが私の人生に大きく影響するとは思っていませんでした。大学時代、私は頑張って日本語を勉強しました。大学4年生の時、私は初めて日本を訪れました。私の学科から6人が日本への研修旅行をする機会があり、幸運にも私はその6人の中の一人に選ばれたのです。その研修旅行は本当に楽しいものでした。広島、京都、東京の三都市を訪れ、いろいろな場所を見学しました。その時にも、私はここ広島大学で研修プログラムを受けました。しかし、研修旅行は2週間という短い期間でした。本当に私にとって意義のある旅行でしたが、日本を知るには不十分でした。私は一緒に行った友達と再び日本に来ることを誓い合いました。

トルコに帰ってから、私は日本で勉強したいと思い、文部省が行っている留学試験を受けました。本当にそれは難しい試験でしたが、日本を再び訪れるため、私は一生懸命勉強しました。無事それに合格し、日本に留学できると分かったとき、私は本当に嬉しかったです。

留学する前まで、日本で生活できるかどうかとても不安でした。しかし、広島大学の先生方を始めとし、チューターの方や友人達が私をいろいろとサポートしてくれました。本当に心から感謝しております。私の広島での滞在はスーパーが少し遠いことを除けば、本当に快適なものでした。4月から私は本当に多くのことを学びました。日本語や専門科目はもちろんですが、日本の文化や社会について本を読むだけでは分からない多くのことを経験しました。本当にありがとうございました。

私は、これから山口大学に行き、研究を続

けていきます。ここ広島大学で学んだ経験を
生かして、山口/大学でも頑張っていこうと思
います。

ご静聴いただきありがとうございました。

パラオという島

ニライ・メツール

皆さんこんにちは。私はニライ・メツールと申します。
パラオという島からまいりました。パラオは日本の南
にあってフィリピンの東にあります。赤道から私の国
はほくい7度にあります。パラオは343の小さい島
からなります。しゅとはコロールといえます。一番大き
い島はバベルダオブといえます。バベルダオブはたて
の長さは 80キロ、よこの長さは30キロぐらいで
す。今人口は2万人ぐらいです。とても少ないのでた
ぶんパラオの人々みんなが広島カープのスタジアムに
入ることができます。

第一次世界たいせんのあと、パラオは日本のえいき
ょうをうけました。日本はパラオで公立学校としよく
ぎょう学校をせつりつしました。だからその時パラオ

の人々は学校に初めてはいれました。学校でパラオ人は日本語とほかのぎじゅつを勉強することができました。大部分のパラオ人は3年生まで日本語を勉強することができました。ある人々はもっと高いレベルにはいれましたがその人々は幾人かだけです。年輩の人によると2%しかいないらしいです。

1922年にパラオは日本の南太平洋のしょゆうちのかんりの中心でした。その時パラオの人口は4万人になりました。でもパラオ人は10%でした。私の父によると日本はパラオのコロルという島をととてもきれいにしました。いろいろな工場やレストランややっきよくなどをたてました。お風呂場と神社もありました。あいにく第二次世界たいせんのあと、アメリカは日本の建てた物を全部こわしてしまいました。今日、神社のあった所で2つの鳥居が見ることができます。今日

もパラオで日本語が話せる年輩の人がいます。パラオ語もいろいろな日本語のことばを使います。たとえば、飛行機や自動車やたたみやまどなどをよく使います。

広島大学へくる前に日本へ来たことがあります、その時かんこうきやくだったので、日本の生活はよくしりませんでした。来る前は日本の留学生の生活はむずかしくないと思いました。その考え方は四月二日のあとすぐ消えました。広島大学の国際交流会館にはじめて着いた時に、たまおか先生がいろいろなしよるいをくださいました。しよるいは銀行こうざやほけんや外国人とうろく証明書についてです。そのあと私は日本の生活はやさしくないとわかりました。その時カタカナは書けましたので名前だけ書きこむことができました。私のチュータが全部してくれました。ともなりさんいろいろありがとうございました。彼のおかげで

たまおか先生にいただいたしよるいは三日間で全部書きこむことができました。さいしょはこのような日本のシステムに私たちはあっとうされました。でもシステムに入ったらすぐそれほど大変じゃなくなりました。

先生方いろいろありがとうございました。これまでの私の広島大学のけいけんは教育的でおもしろいものでした。このような経験はお金では買えません。心から感謝します。ありがとうございました。

私の日本での生活

ホクエモハマドジアウル

先生方と友達のみなさん、始めまして。私はホクエモハマドジアウルというものです。私は今年の四月二日にバングラデシュから日本へまいりました。私はまずバングラデシュからバンコクへ来て、それからバンコクから関西空港へ来ました。そのあとで新幹線で東広島駅へ行ってそのあと東広島駅から大学のバスで国際交流会館へ来ました。そのあと国際交流会館でたまおか先生に授業のよていをつめいしていただきました。そのあと四月七日まで休みだからひまでした。日本へ来た時さびしかったです。でも私の国の友達はいつも気をつけてくれたのでだんだん気持ちがよくなりました。ところで日本人はとてもしんせつで私の日本での生活はだんだんらくになりました。私たちの授業は二十日から始まりました。

私は国で日本語をぜんぜん勉強していませんでした。広島大学に来て初めて日本語を勉強しました。私たちの授業は毎日朝9時55分に始まって、4時50分に終わりました。

国では私は時々自転車にのっていました。そしてこちらに来てからも毎日自転車で大学までかよいました。その時寒くてちょっと問題でした。でも、体がとてもじょうぶになりました。

私が日本語を勉強したクラスには留学生が9人いました。色々な国からきていました。イランやタイやメキシコやパラオやベトナムやイギリスなどでした。みんなとてもしんせつです。

さいしょの日本語の授業はとてもむずかしかったです。漢字の書き方はとてもむずかしくてたいへんでした。ぶんぼうやりーダーの勉強だけではなく、ヒヤリングのれんしゅうをしたり、ビデオを見て日本語のれんしゅうをしました。私たちはみんな『ヤンさん』

のビデオが大好きです。

また、私たちは時々金曜日に見学がありました。あちこち有名なところ、東広島市と宮島とマツダへ行きました。どの見学も楽しかったです。

小さなクラスの授業は、昼休みが終わって、1時20分からはじまりました。そのクラスでは『ヤンさん』のビデオやかんじやぶんぼうのれんしゅうをたくさんしました。その時『ヤンさん』のビデオはとてもおもしろくてうれしかったです。

こんな生活をしたので、今私は日本語のことばが少しわかります。私は毎日近くのスーパーで買い物したり、色々な日本人と話したりしたので今日本語でちょっと話せます。これから二年ぐらい日本で暮らすので、日本のことばがもっとよくわかるでしょう。

私は時々ホストファミリーのお宅にもおじゃましました。そこでは日本語をたくさん話しました。そして、日本の色々なりようりを

ごちそうになりました。はじめ、日本のりょうりはあまりたべられませんでした。でも私はだんだん日本の料理をたべられるようになりました。とてもおいしいです。ごちそうさまでした。

私は国際交流会館にすんでいます。そのじむしつの人たちはとてもしんせつです。その人たちはとてもよくおせわしてくださいます。私達はかんしゃしています。国際交流会館はとてもきれいです。たくさん山があるから毎日見えています。またこのばしょはとてもあんぜんです。たとえば夜になると9時に門をしめるのでカードを持っている人だけ入れます。

けんしゅうについては日本語をならうのにとてもちょうかがあったと思います。先生方はとてもしんせつで、授業はおもしろかったです。先生方もじむの方々もとてもよくして下さいました。

このスピーチは日本語研修コースのさいごのれんしゅうです。私の日本語はいかがで

しょうか。とにかく外国語の勉強はむずかしいです。だから日本語がまだ上手になりません。まだへたです。先生、ホストファミリーのみなさん、いっしょに日本語を勉強したみなさん、色々とありがとうございました。いつかまたお会いしましょう。お元気で。

